

---

◎議案第69号の上程、説明、質疑、討論、採決

○議長（稲葉昭宏君） 日程第4、議案第69号 平成27年度松崎町介護保険特別会計歳入歳出決算の認定についての件を議題といたします。

議案の朗読は省略して、提出者から提案理由の説明を求めます。

○町長（齋藤文彦君） 議案第69号は、平成27年度松崎町介護保険特別会計歳入歳出決算の認定についてであります。

詳細は担当課長をして説明します。

（健康福祉課長 馬場順三君 提案理由説明）

○議長（稲葉昭宏君） 以上で提案理由の説明を終わります。

午後1時まで休憩します。

（午前11時53分）

---

○議長（稲葉昭宏君） 休憩前に引き続き会議を開きます。

（午後 1時00分）

---

○議長（稲葉昭宏君） これより議案69号の質疑に入ります。

質疑を許します。

○2番（渡辺文彦君） 制度自身が国の制度でそれを町が受けてやっているという事業なので、この制度どうのこうのを町がいじることはできないんでしょうけれども。ただ、流れとして、いま国は在宅介護を進めて、それが実際反映されているわけですよね。これは町としてみれば、今後やっぱり在宅でやってくれる状況があればいいんだけど、人口減で高齢化していく中で、この在宅介護が増えていくという状況に対して、これをそのまま受け入れていくとなると、町もちょっと大変になるんじゃないかと思うんですよね。そういう意味で、町長としてもこの市町で協力して、これに対して町に・・・、国にもっと支援を・・・、在宅介護に対する支援のあり方を考えてもらわないと・・・、このままやっていけないと思うんですけれど、その辺はいかがですかね。

○町長（齋藤文彦君） 松崎町1町というわけにはいかないわけですけど、本当に日本全国の市町が固まって、そういうこと国にお願いしていかなきゃいかんなと思っています。

ただ、こういう介護制度もやっぱりできあがった時はいいですけど、どうしても目一杯

に使うよ、使うよとなってくるから、非常にこれからも厳しくなると思うんですけども、国にお願いすることは本当に全国でお願いしていかなければいかんかなと思っています。

○健康福祉課長（馬場順三君） 議員のご指摘のように、小さい町ではやはりやっていくことに限りがございますので、いま賀茂圏域でも1市5町が連携しまして、この福祉関係につきましては、広域でできるものについては広域で取り組んでいこうという流れでございまして、この介護保険関連もやはり専門的な分野については、広域で取り組んでいこうという流れがございまして、そういった広域で対応可能なものについては、今後そういう形になっていくと思われれます。

○議長（稲葉昭宏君） ほかに質疑はありませんか。

○1番（伴 高志君） もう少し踏み込んで・・・、同じような質問ですけども。要介護の1と2が平成27年から対象から外れて施設には入れないということを伺ってしまして、対策として予防事業を進めていくということが、町として今できることのひとつだと聞いていますけれども、ここをどのように具体的にしていくのか。

あとは、やっぱり予防事業だけではもうなかなか追いつかない・・・、割合的にみてもやっぱり・・・、この参考資料の中でも・・・、要介護の1と2が一番多いわけですから、人数的にも増えてきますので、ここを・・・、関係する団体ですとか・・・、そういったところにどのように伝えていくかということもあるかと思えますけれども、今後の取り組みについてお話を伺えたらと思えます。

○健康福祉課長（馬場順三君） 介護予防につきましては、議員がおっしゃいましたように、いわゆる要介護に進む前に、できれば要支援ですとか、更に軽い症状のまま継続できるような形で取り組んでおります。

現在、例えば一例を示しますと、運動機能向上に向けて、いきいき貯筋倶楽部ですとか、あるいは吹き矢の教室ですとか、健康体操の養成講座、こういったものに各種事業を展開しております、延べ人数でいきますと1300人位の方がこの事業に参加いただいております、これらについては継続して実施していきたいと考えております。

○町長（齋藤文彦君） 松崎版クアオルトというようなことを一般質問でも答えましたけれども、やっぱり健康寿命を維持しなければいかんわけですから、そういう支援1・2になる前に、皆さん元気でいていただきたいと思うわけです。

いまノルディックウォークをやる人がいるとか、松崎は温水プールがあるわけですから、なんでもうちちょっと温水プールを使って、町の皆さん方に使っていただけないのかなといういろいろ

難しい問題があるわけですがけれども、これをやっていきたいと・・・。

そして、いま新聞等で賑わしている・・・、マスコミ等で賑わっていますけれども、スタンドアップパドルと・・・、サーフボードをでかくしたようなやつに立ってパドルで漕ぐわけですがけれども、今度9月11日に野中君たちが大会をやるわけですがけれども。あれは非常に運動量が効率的で非常にバランスがとれて、年寄りの皆さんに非常にいいということを知っていますので、下田の方でもちょっとやっているのを見たことがあるんですけども、松崎町でもそれをうまく利用できないのかなと思っています。

そして、やっぱり友だちの多い人、または趣味の多い人は医者いらずというけれども、本当に、年寄りの方はいっぱい公民館に集まって来るような感じのことができればいいのかなと・・・、内部でいろいろ話をしているところでございます。

○議長（稲葉昭宏君） ほかに質疑はありませんか。

○2番（渡辺文彦君） 今の町長のお話の関連で、健康長寿を延ばすには、社会参加が非常にいいということでは言われていると思うんですけども、その辺をもっと町民の方に参加してもらうような場を増やしていく取り組みも必要じゃないかと思うんですけど、その辺はいかがですかね。

○健康福祉課長（馬場順三君） 実は、先だって県の方である書籍が発刊されまして、これは、100歳以上の方に聞いた健康長寿の秘訣という形でまとめられてございます。その100歳以上の方の長寿の秘訣をまとめますと、まず1点目としてお茶を良く飲む、2点目としてお肉が好きでよく食べる、3番目として近所の人や友人との会話がある、4番目として日課がある、5点目として新聞や本を読む、6として歯や義歯に問題がない、7番目として性格が非常に前向き、こういった傾向がみられるということでございまして、この中で一つの近所の人や友人との会話があるという部分がございまして、この辺は町の方でもいろんなそういった機会を・・・、現在もいろいろ予防教室等で開催をしているところでございますけれども、継続して開催して行って、そういった機会については設けていきたいと考えております。

○町長（齋藤文彦君） 健康福祉の方で健康マルシェというを特産品館で1か月に1回やっていますけれども、本当に高齢の方が集まっていろいろ話をしている場面を見るわけですがけれども、ああいう機会を本当に作っていくのが一番必要かなと思っています。

私は本当に町民大会がなくなった時に非常に残念で、本当は町民大会をやってくれ、やってくれと言っているんですけども、なかなかいかないわけですがけれども、本当にシニアのそういう運動大会みたいなものをぜひやって欲しいなと・・・。そして、やっぱり同級生でがんばっ

ているやつがいると、あの野郎に負けるかというようなやつで、みんな元気な人がいると、お  
らも負けないぞというような気になると思いますので、そのようなことができればいいのかな  
と思うところです。

○議長（稲葉昭宏君） ほかに質疑はありませんか。

（発言する者なし）

○議長（稲葉昭宏君） 質疑がないようですので、質疑を終結したいと思います、これにご異  
議ありませんか

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○議長（稲葉昭宏君） 異議なしと認めます。

よって、質疑を終結いたします。

これより討論に入ります。

まず、本案に対する反対討論の発言を許します。

（発言する者なし）

○議長（稲葉昭宏君） 反対討論なしと認めます。

次に、本案に対する賛成討論の発言を許します。

（発言する者なし）

○議長（稲葉昭宏君） 賛成討論なしと認めます。

これをもって討論を終了します。

これより議案第69号 平成27年度松崎町介護保険特別会計歳入歳出決算の認定についての  
件を挙手により採決します。

本案は原案のとおり認定することに賛成の諸君の挙手を求めます。

（挙手全員）

○議長（稲葉昭宏君） 挙手全員であります。

よって、本案は原案のとおり認定されました。

---